

MUFG Focus USA Topics

経済調査室 ニューヨーク駐在情報

MUFG Union Bank, N.A. Economic Research NY
Akira Yoshimura | 吉村 晃 (ayoshimura@us.mufg.jp)
Director and Chief U.S. Economist

8月雇用統計：感染再拡大を受けて非農業部門雇用者数の伸びは急減速

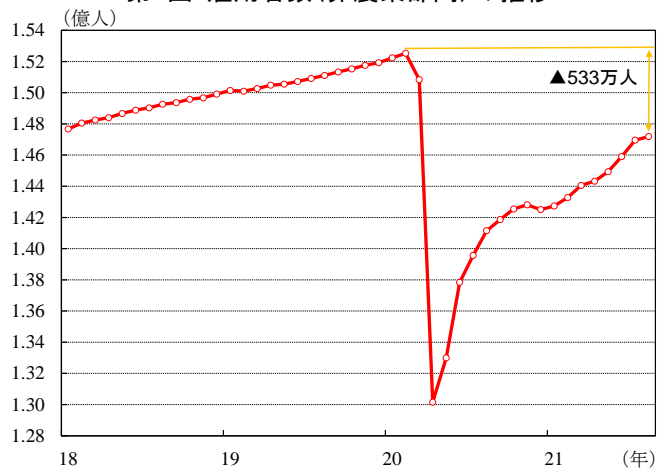
【要旨】

- ◇ 9月3日に公表された8月の雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比+23.5万人と、過去2ヵ月の高い伸び（6月：同+96.2万人、7月：同+105.3万人）から急減速し、市場予想（Bloomberg 集計値：+73.3万人）を大幅に下回った。業種別にみると、6~7月の回復を牽引していた「レジャー・宿泊・飲食」が前月比横這いとなり、「公務」が同▲0.8万人と減少に転じたほか、「小売業」は同▲2.9万人と2ヵ月連続で減少した。「レジャー・宿泊・飲食」はコロナ禍の影響が大きく、デルタ変異株による感染再拡大が想定以上に雇用を下押しした。
- ◇ 一方、8月の失業率は5.2%（7月：5.4%）、失業者数は前月比▲31.8万人（7月：同▲78.2万人）と、2ヵ月連続で改善した。週次の新規失業保険申請件数も減少基調が続くなど、感染再拡大が失業増につながる兆候はみられず、労働市場の需給は引き締め方向で推移しているとみられる。
- ◇ 8月27日のジャクソンホール会議においてFRBのパウエル議長が、労働市場の改善が続くことを前提に「年内に量的緩和の段階的縮小（＝テーパリング）を開始するのが適当」と述べたことから、今回の雇用統計は注目されていた。8月単月では雇用回復が急減速する結果となったが、これが一時的なものか否かを今後の月次指標で見極めていくこととなろう。
- ◇ 最大の懸念材料である感染症の状況は引き続き予断を許さないが、米国の新規感染者数はごく足元でピークアウトの兆しがみられる。また、労働市場が全体として改善を続けるなかで、9月の学校再開やパンデミック対応として設けられた手厚い失業保険の打ち切り等による労働供給面での後押しも見込まれる。現時点では、雇用の回復基調はこの先も途切れずに、11月または12月のFOMCにおいてテーパリングが決定されるとの見方を維持する。

デルタ変異株による感染再拡大に伴い「レジャー・宿泊・飲食」の雇用回復が急減速

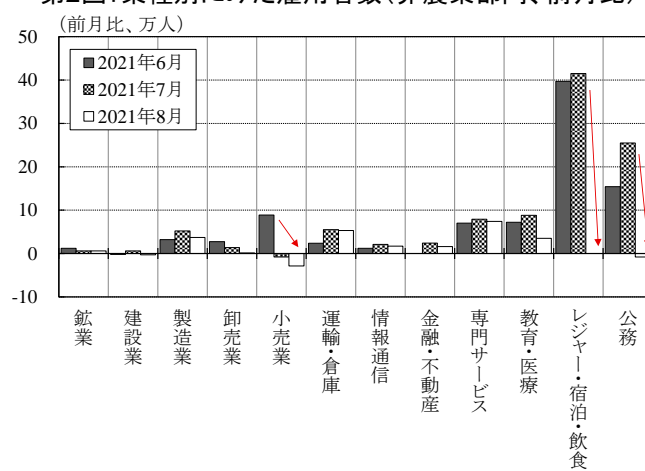
9月3日に公表された8月の雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比+23.5万人と、過去2カ月の高い伸び（6月：同+96.2万人、7月：同+105.3万人）から急減速し、市場予想（Bloomberg集計値：+73.3万人）を大幅に下回った（第1図）。業種別にみると、6～7月の回復を牽引していた「レジャー・宿泊・飲食」が前月比横這いとなり、「公務」が同▲0.8万人と減少に転じたほか、「小売業」は同▲2.9万人と2カ月連続で減少した（第2図）。

第1図：雇用者数（非農業部門）の推移



(資料) 米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

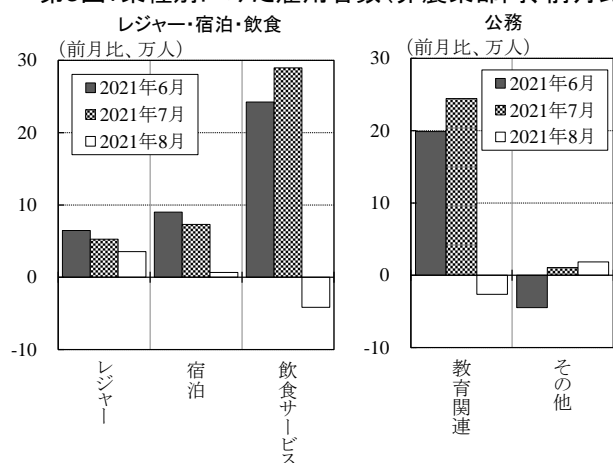
第2図：業種別にみた雇用者数（非農業部門、前月比）



(資料) 米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

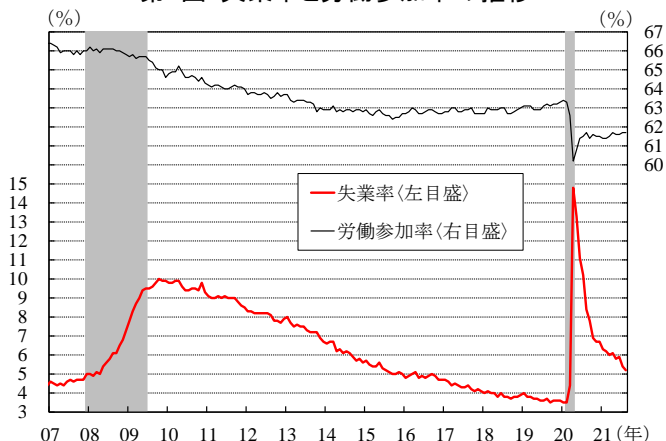
このうち「公務」は、6～7月に高い伸びを示していた州・地方の「教育関連」が同▲2.6万人と減少に転じたが、ここ数カ月の「教育関連」の雇用者数は技術的な要因（季節調整の影響等）で押し上げられており、8月は剥落する可能性が指摘されていた。一方、「レジャー・宿泊・飲食」は、「飲食サービス」が同▲4.2万人と減少に転じ、「宿泊」は同+0.7万人と前月（同+7.3万人）から急減速した（第3図）。コロナ禍の影響が大きいこれら業種では、デルタ変異株による感染再拡大が想定以上に雇用を下押しした。

第3図：業種別にみた雇用者数（非農業部門、前月比）



(資料) 米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

第4図：失業率と労働参加率の推移



(注) シャドー部分は景気後退期。

(資料) 米国労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

失業率は改善、労働市場の需給は引き締めり方向で推移しているとみられる

一方、8月の失業率は5.2%（7月：5.4%）、失業者数は前月比▲31.8万人（7月：同▲78.2万人）と、2ヵ月連続で改善した（前掲第4図）。また、9月2日に公表された週次の新規失業保険申請件数も34.0万件と減少基調が続いており、感染再拡大が失業増につながる兆候はみられず、労働市場の需給は引き締めり方向で推移しているとみられる。

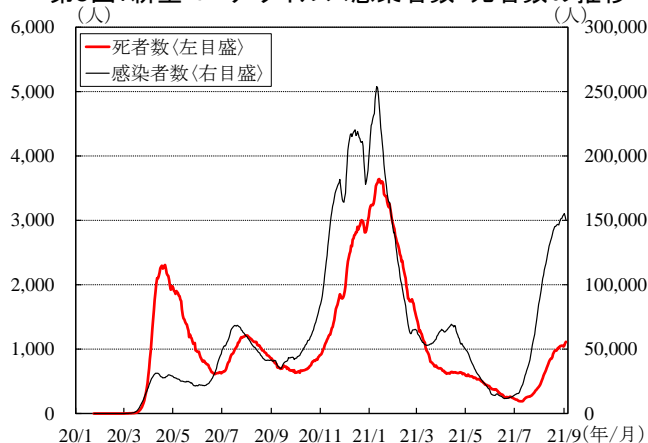
他方、生産年齢人口（16歳以上）に占める労働力人口（就業者＋失業者）の割合を示す労働参加率は、8月に61.7%と前月から横這いに止まっている（前頁第4図）。9月に多くの学校が再開されることから、コロナ禍によって家庭で子供の世話をするために仕事を辞めざるを得なかった人達がどの程度労働市場に戻り、労働参加率が改善するか注目される。

今後の月次指標で見極めも、雇用の回復基調は途切れずに年内にテーパリング決定の公算

8月27日のジャクソンホール会議においてFRBのパウエル議長が、労働市場の改善が続くことを前提に「年内に量的緩和の段階的縮小（＝テーパリング）を開始するのが適当」と述べたことから、年内に3回予定されているFOMC会合（9月21-22日、11月2-3日、12月14-15日）におけるテーパリング開始の決定時期を推し量る上で、今回の雇用統計は注目されていた。8月単月では雇用回復が急減速する結果となったが、これが一時的なものか否かを今後の月次指標で見極めていくこととなる。

最大の懸念材料である感染症の状況は引き続き予断を許さないが、米国の新規感染者数はごく足元でピークアウトの兆しがみられる（第5図）。また、労働市場が全体として改善を続けるなかで、9月の学校再開やパンデミック対応として設けられた手厚い失業保険の打ち切り等による労働供給面での後押しも見込まれる。現時点では、雇用の回復基調はこの先も途切れずに、11月または12月のFOMCにおいてテーパリングが決定されるとの見方を維持する。

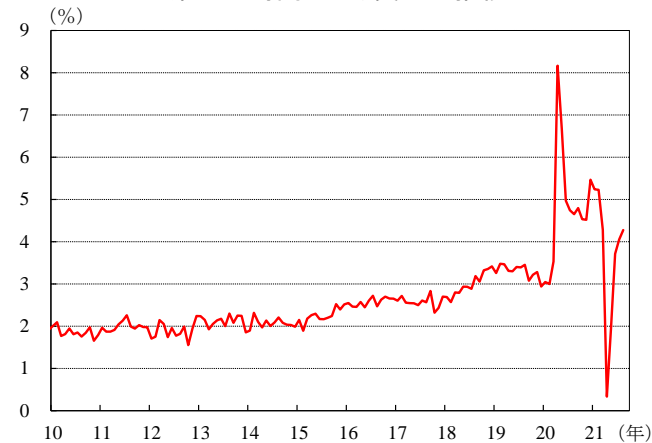
第5図：新型コロナウイルス感染者数・死者数の推移



(注)7日間移動平均値。

(資料)CDC(米国疾病予防管理センター)統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

第6図：時間当たり賃金の推移



(注)全労働者ベース。

(資料)米労働省統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

なお、今回の雇用統計では、時間当たり賃金が前年比+4.3%と前月（同+4.1%）から加速し（前掲第6図）、前月比でも+0.6%と前月（+0.4%）から加速している。パウエル議長は足元の物価上昇は一時的との見方を繰り返しているが、半導体不足をはじめとする供給制約や賃金の上昇が続くなか、物価上昇は当初の想定よりも長引くとの見方も広がっている。9月のFOMC（9月21-22日）において示される参加者の物価見通しにどの程度変化がみられるか、留意しておきたい。

(2021年9月6日 吉村 晃 ayoshimura@us.mufg.jp)

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊社ホームページでもご覧いただけます。

The information herein is provided for information purposes only, and is not to be used or considered as an offer or the solicitation of an offer to sell or to buy or subscribe for securities or other financial instruments. Neither this nor any other communication prepared by MUFG Bank, Ltd. (collectively with its various offices and affiliates, "MUFG Bank") is or should be construed as investment advice, a recommendation to enter into a particular transaction or pursue a particular strategy, or any statement as to the likelihood that a particular transaction or strategy will be effective in light of your business objectives or operations. Before entering into any particular transaction, you are advised to obtain such independent financial, legal, accounting and other advice as may be appropriate under the circumstances. In any event, any decision to enter into a transaction will be yours alone, not based on information prepared or provided by MUFG Bank. MUFG Bank hereby disclaims any responsibility to you concerning the characterization or identification of terms, conditions, and legal or accounting or other issues or risks that may arise in connection with any particular transaction or business strategy. While MUFG Bank believes that any relevant factual statements herein and any assumptions on which information herein are based, are in each case accurate, MUFG Bank makes no representation or warranty regarding such accuracy and shall not be responsible for any inaccuracy in such statements or assumptions. Note that MUFG Bank may have issued, and may in the future issue, other reports that are inconsistent with or that reach conclusions different from the information set forth herein. Such other reports, if any, reflect the different assumptions, views and/or analytical methods of the analysts who prepared them, and MUFG Bank is under no obligation to ensure that such other reports are brought to your attention.